



～中学生が給食献立づくりに挑戦!～
地元食材の魅力を広げる“実践学習”

宗像市では、昨年度より「むなかた育ちウィーク」と題し、市内の小中学校で地元の食材をふんだんに使った特別給食を提供してきました。また、自由ヶ丘中では昨年度から給食レシピの考案をしています。今年度は新たな取り組みとして、生徒が給食の献立作りにチャレンジします。

このチャレンジは「宗像のおいしい食材を、地域にもっと広めたい」という思いから、中学生が自分たちで給食の献立づくりを行います。

生徒は約半年にわたり、宗像の旬の食材や給食の経済性、栄養バランスについて学習します。この取り組みには福岡教育大学や食の地域団体が参加し、生徒の学びをサポートします。

10月下旬を目標に、季節の食材と栄養バランスを考慮した宗像らしさが詰まった「おいしい給食献立」の完成を目指します。完成後、地元の小学校を訪問し、生徒自らが考案した献立のプレゼンや交流給食を実施予定です。

【宗像の食を生かした給食献立開発 1時間目】

- 日 時：6月11日(水) 15:25～16:15 (6限目)
場 所：自由ヶ丘中学校 体育館(宗像市朝町1019-4)
※体育館での講義後、各教室で班ごとに献立を考えていく
参加生徒：自由ヶ丘中7年生(122人)
講 師：給食の献立づくりに携わる市職員
内 容：宗像市内で生産される多様な農作物(宗像大豆、米、麦、みかん、イチジクなど)や加工品について

【今後のスケジュール】

- 6月・7月 給食献立づくり、アイデアプレゼン発表会
10月 地元小学校(自由ヶ丘小、自由ヶ丘南小)での献立プレゼン、交流給食

※取材いただける場合は事前にご連絡ください

【授業について】 自由ヶ丘中学校 担当:教頭・瀧口 電話:0940-33-3767
【取材について】 宗像市安全安心な学校づくり課 担当:秋葉 電話:0940-36-1322